

2024年2月11日（日）第二礼拝「青銅の蛇を仰ぎ見れば生きる」ヨハネ3章14～16節

イスラエルの民はカナンへ進む途中、エドム人の住む地域を通らねばなりません。しかし、エドム人の王がそれを拒んだため、イスラエルの民は遠回りせざるを得ず、民は怒りました。そして、ついに荒野での生活に我慢ができなくなり、民は不平不満を言い出します。すると燃える蛇が現れ、民にかみつ、多くの者が死んでしまいました。その結果、民は悔い改めて助けを求めました。すると主はモーセに「あなたは燃える蛇を造り、旗ざおの上につけよ。すべてかまれた者は、それを仰ぎ見れば、生きる。(民数記21:8)」と言われました。蛇にかまれた者が旗ざおの上につけられた青銅の蛇を仰ぎ見ると、生きました。

第一番目、青銅の蛇です。蛇はサタンです。不平不満(罪)があるところに蛇が現れて民にかみつ、彼らの多くは死にました。彼らを救うために、青銅の蛇が必要でした。青銅は審判を意味します。イエス様は私たちの罪を背負ってその青銅の蛇として審判を受けてくださいました。「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」(ヨハネ3:14～15)「神は罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。」(Ⅱコリント5:21) イエス様が十字架によって蛇の頭(死、罪、呪い、病い)を打ち砕いてくださったのです。イエス様の十字架こそ勝利です。

第二番目、「仰ぎ見る」という意味です。「仰ぎ見る」とは信じることです。旧約時代はいけにえの動物の頭に手を置いて全ての罪をその動物に移しました。同様に、イエス様は十字架で私たちの罪も死も病いも全て引き受けてくださいました。そして私たちが受けるべき審判を、イエス様が代わりに受けてくださり十字架で完了してくださいました。私たちがそのことを信じるのが大切です。そして、信じるならその通りになるのです。

第三番目、感謝を捧げることです。神様が勝利されたことを賛美し感謝する時、私たちの人生の様々な問題や壁が崩れていきます。青銅の蛇の一件の後、主はイスラエルの民に水を与えと言われ、民は「わきでよ。井戸。(民数記21:17)」と歌いました。私たちがイエス様の勝利を宣言し賛美し感謝を捧げる時、私たちの内側で勝利の力が湧き上がります。これは聖霊の力です。

その後イスラエルの民がエモリ人の領地に来た時、エモリ人の王もまた領土を通らせず、戦いとなりました。しかし、イスラエルはエモリ人の王シホンを打ち破り大きな勝利を収めました。このように、感謝と賛美によって道が開かれるのです。

ヨシャパテ王の時代にエドム人、モアブ人、アモン人の連合軍が攻めてきた時にも賛美で勝利することができました。「彼は民と相談し、主に向かって歌う者たち、聖なる飾り物をつけて賛美する者たちを任命した。…彼らが喜びの声、賛美の声をあげ始めた時、主は伏兵を儲けて、ユダに攻めて来た…人々を襲わせたので、彼らは打ち負かされた。」(Ⅱ歴代誌20:21～22) 賛美には力があり、感謝を捧げていく時に救いと奇跡が起こるのです。アーメン！